

やす

市議会だより



第3回新春近江富士駅伝



消防出初式



ドウタクくんと凧作り

No.29

発行日／平成24年2月1日

発行／野洲市議会

編集／議会広報特別委員会

〒520-2395

滋賀県野洲市小篠原2100番地1

TEL (077)587-6034

FAX (077)586-4300

野洲市ホームページ

<http://www.city.yasu.lg.jp/>

- 議会懇談会・報告会…………… P 2
- 11月臨時会報告…………… P 4
- 12月定例会報告…………… P 5
- 各委員会報告…………… P 6
- 一般質問…………… P 8
- 審議結果…………… P 15
- 議会の動き…………… P 16

● 報告会を開催

第2回目となる議会懇談会・報告会を、11月12日(土)、11月15日(火)、11月18日(金)の3日間にわたり、市内3会場(コミセンひょうず・コミセンきたの・コミセンみかみ)にて開催し、計61人のみなさまに参加いただきました。

参加者アンケート報告

【回答人数】	43人					※アンケート集計では未記入の項目もあり一致しません。
【お住まい】	市内 10人		市外 24人			
【性別】	男性 14人		女性 7人			
【年齢】	30歳代 2人	40歳代 3人	50歳代 11人	60歳代 14人	70歳代以上 2人	
【感想】	わかりやすかった 10人		どちらともいえない 10人		わかりにくかった 11人	
【時間】	長かった 1人		ふつう 23人		短かった 5人	
【資料】	多い 0人		ふつう 11人		少ない 16人	
【評価】	評価する 14人		どちらとも言えない 8人		評価しない 6人	

- 【自由記述】
- 全体の流れの説明であったが、現在、野洲市の問題点等に絞って話し合うのも良いと思う。
 - 資料が「議会だより」だけで、議員が持っている資料に基づいて話すことが半分ぐらいあったので、内容がよくわかった。
 - もう少し参加していただけるための方策を考えていただきたい。
 - 発言する人が少ないなかでの進行は難しいと思いますが、特定の人との質疑応答になった感じ。進行をもっと工夫すべきではないか。
 - 言葉が難しく内容が理解できない。
 - 議会全般を説明するのではなく、ポイントを絞る。又は何かテーマがあれば話しやすい。
 - 議会報告を30分でまとめ報告されている事は適切であると感じ、質疑応答を充実させる姿勢が感じられた。
 - 議会が全て答えられる訳ではないが、精一杯答えようとされる態度が良かった。

【総評】 野洲市が県下で初めて議会懇談会・報告会に取り組んでいることから、他市からの参加者が多かったため、今後、市民の参加者の増加に努めていきます。
またアンケート結果として一定の評価をいただいたが、資料が少ないなどのご意見もあったことから、今後わかりやすい資料作成に努めていきます。

第2回 議会懇談会



議会懇談会・報告会での質疑応答

問 11月4日の臨時議会で正副議長選挙が行われたが市民に事前周知したのか。特に今回は議長、副議長は、立候補し所信表明を行ったので多くの市民に傍聴してほしい。

答 今後、検討していく。

問 ホームページを議員一人ひとりが開いてほしい。

答 議会として議員にホームページの開設を促しているが、最終判断は各議員に委ねている。

問 篠原小学校の問題で訴訟になるのか、紛争委員会で解決するのか等を見聞きしているが現状は。

答 委員会では二階以上をやり直すとの結論になりそうであるが、業者は紛争委員会にかけており、その結果に基づいて市が判断する。

問 11月議会に三上小学校の設計変更で5千万円計上されているがその理由は。

答 当初予算で計上されていない駐車場の舗装や外壁関係、渡り廊下の舗装関係等により追加された。今後、建設途中で大幅な変更がないよう指摘している。

問 野洲市職員には一級建築士はいるのか。

答 3名の一級建築士がいる。

問 9月議会では市長が反問権を行使したとの事だが、何人にしたのか。

答 14人が一般質問を行い、4人に反問権を行使した。

問 福祉施設の社会福祉法人には市の職員が出向しているのか。

答 市内には悠紀の里、あやめの里、ぎおうの里があるが職員は出向していない。

問 新議長に今後の議会運営についての考えを聞きたい。

答 コミュニケーションというのが、スムーズな議会を運営する上では非常に重要だと思っている。

問 議会広報は市民には分かりにくい。レイアウト、内容の決定は誰が行っているのか。

答 一般質問は各議員、委員会は各委員長である。レイアウト等は議会広報特別委員会で行っている。見やすく分かりやすい紙面にしていきたい。

問 市だけでは解決できない問題は国や県に要望されていると思うが、実行してもらう方策、実現のための行動は。

答 市役所の中に国県事業対策室があり、国県とのパイプ役を担っている。滋賀県市議会議長会の要望として各地の市町の要望を滋賀県知事に提出している。

次回開催予定

5月に第3回議会懇談会・報告会を開催予定

※上記の開催について、開催場所や開催回数等についてのご意見を議会事務局までお寄せください。

あ と が き

議会懇談会・報告会では43人の方々からアンケートにご協力いただきました。会場にていただいたご意見・ご要望とあわせ、議会活動に生かしてまいります。今後開催する議会懇談会・報告会の参加をお待ちしています。

11月臨時議会

平成23年

11月臨時会は11月4日に開会。市長から7議案が提案され全議案同意・可決された。
また、正副議長選挙などが行われた。

○訴えの提起について
○篠原小学校校舎改築（建築主体）工事（機械設備を含む）に係る設計業務委託の損害賠償請求。
○野洲市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めるとについて

○委任専決処分報告について

○市道の劣化によるタイヤホイール損傷事故

○農道の劣化によるタイヤホイール損傷事故

○工事請負契約の変更について（三上小学校校舎耐震補強・大規模改修工事（建築主体工事））

○三上小学校校舎耐震補強・大規模改修工事（建築主体工事）の請負契約を変更することについて、地方自治法及び市条例の規定に基づき、議会の議決を求める。

5148万9900円を追加し、変更後の金額を2億3586万9000円とする。

○現委員の任期満了に伴い、橋本氏を新たに任命。
○現委員の任期満了に伴い、引き続き委員として選任。
○野洲市監査委員会委員の選任につき議会の同意を求めるとについて
○現監査委員の退職に伴い、小菅六雄議員を新たに選任。

賛否が分かれた案件の審議結果一覧

○…賛成 ●…反対

分類	議案番号	件名	審議結果	野洲ネット			野洲新風クラブ			政友会			新政クラブ			日本共産党野洲市議会議員団		公明党					
				鈴木市朗	三和郁子	丸山敬二	西本俊吉	立入三千男	坂口哲哉	市木一郎	井狩辰也	田中孝嗣	中島一雄	奥村治男	高橋繁夫	河野司	田中良隆	内田聡史	小菅六雄	野並享子	太田健一	矢野隆行	梶山幾世
その他	議第84号	野洲市監査委員会委員の選任につき議会の同意を求めるとについて	同意	○	○	○	○	●	●	●	●	○	欠	○	○	●	—	●	○	○	○	○	○
意見書第10号	意見書第10号	TPP(環太平洋パートナーシップ協定)交渉参加に反対する意見書	可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*議長(田中良隆議員)は採決に加わらない。
*議第84号については、小菅議員は除斥対象のため採決には加わらない。除斥:議会における審議の公正を期すために、審議事件と一定の利害関係を有する議員は、審議に参加することができないとする制度。

正副議長および各常任・特別委員会等一覧

常任委員会

委員会名	委員会委員	
総務常任委員会 (7名)	◎矢野隆行	○内田聡史
	市木一郎	小菅六雄
	田中孝嗣	三和郁子
	鈴木市朗	
文教福祉常任委員会 (7名)	◎梶山幾世	○高橋繁夫
	井狩辰也	奥村治男
	西本俊吉	野並享子
	田中良隆	
環境経済建設常任委員会 (6名)	◎坂口哲哉	○太田健一
	中島一雄	丸山敬二
	立入三千男	河野司
	全議員	
予算常任委員会 (20名)	◎立入三千男	○鈴木市朗

議長	田中良隆
副議長	奥村治男
監査委員	小菅六雄

11月4日(金)開会の臨時会において、正副議長立候補者の所信表明演説が行われた後、正副議長が選出されました。

特別委員会

委員会名	委員会委員	
議会広報特別委員会 (6名)	◎丸山敬二	○内田聡史
	矢野隆行	井狩辰也
	高橋繁夫	太田健一
都市基盤整備特別委員会 (20名)	全議員	
	◎中島一雄	○丸山敬二
議会改革特別委員会 (20名)	全議員	
	◎三和郁子	○井狩辰也

議会運営委員会

委員会名	委員会委員	
議員運営委員会 (9名)	◎鈴木市朗	○高橋繁夫
	梶山幾世	丸山敬二
	坂口哲哉	立入三千男
	小菅六雄	田中孝嗣
	河野司	

広域組合議会

湖南広域行政組合(4名)	立入三千男	野並享子
	田中孝嗣	河野司
守山野洲行政事務組合(3名)	市木一郎	丸山敬二
	太田健一	

平成23年 12月定例会

12月定例会は、11月30日開会。市長から条例制定や補正予算など29議案が提案され、すべて可決。議員提出による意見書6件は全て可決。また、請願2件は、共に採択。一般質問では13名が質問を行い、12月20日に閉会した。主な議案の内容は次のとおり。

補正予算

◎平成23年度野洲市一般会計補正予算(第4号)

○1億6583万3千円を追加し、総額を19億2285万9千円とする。

補正の概要

法人市民税の減額。

普通交付税および臨時財政対策債確定による精査。地域開発事業債借換債の繰上償還財源として工業団地等整備事業特別会計に対する繰出金を追加及びこれに相当する額を減債基金から繰り入れ。コミユニティバス増便に係る準備経費の計上。制度改正に伴う子ども手当の減額。(仮称)野洲第3こども園建設に係る費用の計上。ク

額。各種交付金、支援金、納付金、拠出金の精査。決算剰余金の1/2相当額を財政調整基金に積立て。

◎平成23年度野洲市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

○20万2千円を追加し、総額を3億6571万7千円とする。

◎平成23年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

○73万2千円を追加し、総額を28億6960万4千円とする。

補正の概要

◎平成23年度野洲市一般会計補正予算(第5号)

○130万円を追加し、総額を19億2415万9千円とする。
中幼稚園事故の和解に係る損害賠償金。

◎平成23年度野洲市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

○1034万9千円を追加し、総額を45億2346万5千円とする。

補正の概要

対象者の増加見込みによる人間ドック・脳ドック健診助成金の増

ンホールポンプ設置工事請負費を計上。公的補償金免除繰上償還に伴う公債費の精査及びその財源としての借換債の追加。

◎平成23年度野洲市工業団地等整備事業特別会計補正予算(第1号)

○230万を減額し、総額を13億2678万7千円とする。

補正の概要

地域開発事業債借換債の繰上償還の追加に伴う借換債の減額。利子確定による償還利子の減額。

◎平成23年度野洲市水道事業会計補正予算(第1号)

○収益的支出(支出)
975万3千円を追加し、総額を8億1454万8千円とする。

○資本的収入及び支出(収入)
236万3千円を追加し、総額を3287万9千円とする。

◎市三宅東部土地区画整理内管渠工事実施施設計業務委託料を計上。野洲駅前4-1枝線マ

補正の概要

市三宅区画整理内配水管布設工事設計負担金の計上。

条例

◎野洲市暴力団排除条例

○暴力団の排除を推進し、市民生活の安全と平穏を確保するため本条例を制定。

条例の概要

・市所管の施設について暴力団としての使用は認めない。
・入札等において暴力団関係者の参加は認めない。

・暴力団が利するような行政施策は行わない。
◎野洲市非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び野洲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例

○障害者自立支援法の一部改正が施行されたことに伴い、引用条項の改正を行う。

◎野洲市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

○平成23年人事院勧告を踏まえ、職員の給与改

定を行う。

◎野洲市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

○災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い改正を行う。

条例改正の概要

災害弔慰金の支給対象者となる遺族の範囲に、同居及び生計を同じくしていた兄弟姉妹を加える。

◎野洲市野洲川1地区基幹水利施設管理条例等の一部を改正する条例

○地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の規定により、土地改良法に新たな条項が加えられ、引用条項の改正を行う。

◎野洲市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

○非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令が改正されたことに伴い、引用条項の改正を行う。また、同政令は平成24年4月

1日には原因となる障害者自立支援法の改正規定が施行されるため、その改正も併せて行う。

○野洲市こどもの家条例の一部を改正する条例
○児童福祉法の改正に伴う引用条項の整理、学童保育所施設の新設等、子ども教室の廃止に伴い所要の改正を行う。

○野洲市コミュニティバスの運行に関する条例の一部を改正する条例
○既設の4コースに加え、新たに中央循環コースを設置する。

その他

○委任専決処分報告について（和解及び損害賠償の額を定めることについて）

○除草作業中の自動車窓ガラス損傷事故
○指定管理者の指定につき議決を求めることについて

○市内各コミュニティセンターの指定管理者を各学区自治連合会に指定。但し、コミュニティセンターぎおうについては女王まちづくり推進協議会に指定。

進協議会に指定。
指定期間
平成24年4月1日から平成29年3月31日まで。

○指定管理者の指定につき議決を求めることについて

○こどもの家（学童保育所）の指定管理者を社会福祉法人 野洲市社会福祉協議会に指定。

指定期間
平成24年4月1日から平成29年3月31日まで。

○休日急病診療に関する事務の委託につき議決を求めることについて

○地方自治法の規定により、規約を定め、休日急病診療に関する事務の委託を草津市に委託することについて議会の議決を求める。

○工事請負契約の変更に
ついて（野洲中学校耐震補強・大規模改修工事（建築主体工事））

○野洲中学校耐震補強・大規模改修工事（建築主体工事）の請負契約を変更することについて、地方自治法及び市条例の規定に基づき議

会の議決を求める。
5039万7900円を追加し、変更後の契約金額を2億9714万7900円とする。

○財産の取得について（市民活動拠点施設用地）

○野洲駅前のアサヒビル（株）他1社が所有する9,345.01㎡の土地を取得するため、地方自治法及び市条例の規定に基づき議会の議決を求める。

○和解及び損害賠償の額を定めることについて

○損害賠償請求事件の和解及び損害賠償の額を定めることについて、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求める。

請願

○食料・農業・農村政策にかかわる請願書

○米軍関係者による事故・事件における第一次裁判権放棄の密約の破棄と日米地位協定の見直しを日本政府に求める請願書

意見書

○大津地方事務局守山出張所の廃止に反対する意見書

○定期接種に関し、早期に国の制度確立を求め
る意見書

○保育所運営費国庫負担金を廃止しないことを求める意見書

○国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書

○食料・農業・農村政策にかかわる意見書

○日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書

予算常任委員会

総務分科会

問 路上喫煙対策費で複写機使用料の内容は。

答 野洲駅南口と北口に喫煙所を設置する際の案内看板と路面シール等の印刷費。

問 コミュニティバス中央循環コース増設に係る予算の分析検証は。

答 積み残しの事態を解消するため今回新コースの増設に至った。

問 消防施設整備事業費で、雨水調整池設置工事は建築で増額になっており、防火水槽工事は建築工事に含み減額になっているが詳細は。

答 建築工事を行う際に調整池を地下に設置する工法を取り、防火水槽は設けない。

問 法人市民税の1億8千万の減額の要因。また3月に発生した東日本大震災が本市で操業する企業へ与えた影響は。

答 平成23年度当初予算積算時には、比較的好調と聞いていた特定大手法人が、下期は上期より業

績が伸びずに、今回減額となった。震災の影響は小さい。

問 野洲病院整備費用で建設規模や事業収支シミュレーションをコンサルに委託するが、市の基本的なスタンスは。

答 専門家も加え、検討委員会の中で見極める。また、市民の意見も聞きながら進めていきたい。

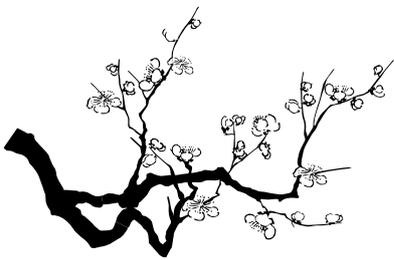
問 合併特例債の今後の借入可能額は。

答 平成24年、25年、26年度の3年間で約30億8,750万円程度を発行できる。

文教福祉分科会

問 野洲第3子ども園の用地取得費について、3月に配布された野洲市幼稚園・保育所施設整備計画案には5千200万円と記載されていたが、今回9千400万円で計上。この金額の差は何か。

答 計画案では評価額や路線価を基に概ね算出したものであるが、今回は土地の選定後、不動産鑑定の結果による金額であるため、計画案と金額差が生じた。



問 人間ドッグ・脳ドッグの助成対象者は毎年同じ人が健診対象になっていないか。

答 今年度から健診助成を3年に1度と改正したことにより、今年度は全員が新規対象になっている。

問 包括的支援事業・任意事業費から配食サービスの事業委託料41万4千円が減額となるのは何故か。

答 対象者の割合が変わったことによる支出科目の更正であり、介護予防事業費の委託料の中で同額を追加計上しているの、事業縮小ではない。

環境経済建設分科会

問 廃棄物最終処分場費の調査委託料の減額について、元々の委託料と調査の内容は。

答 当初予算額が76万1千円に対し、執行額が63万3千円で12万8千円の減額。検査委託料が、当初予算額42万6千円に対し、執行額が40万6千円で22万円の減額。調査内容はダイオキシンや水質管理、蓮池の里の安定化

調査。

問 環境保全型農業直接支援交付金の増額について、当初の予想は。

答 一団体を予定していたが、四団体、三個人での取り組みで面積が増え、40万8千円を増額。

問 この制度にはエコファーマ認定が必要とあるが、何団体があるのか。

答 26団体ある。

問 中間処理施設の焼却処理施設1号の修繕について、定期補修工事の内容と、2千200万円の側壁耐火物補修の追加の内容は。

答 定期補修工事は毎年9月と2月の年2回、焼却炉全体の定期修繕工事で、追加分はその間の全体的な老朽化による突発的な事故の発生に対応するもの。

問 農地・水・環境保全向上対策負担金について、水路補修関係の申請6カ所が全て不採択となった原因と、金額の上限と下限の差は。

答 県の機能診断により、不採択となった。水路による高い安いではなく、反当たり4千円という形

での負担金となっている。

総務常任委員会

問 暴力団排除条例について市民等の定義で、市民及び事業者となっているが、文言の判断は。

答 市民へは、分かりやすい解説のパンフ等作成し、その中で明示する。

問 何をもって暴力団員というか。

答 見分けは難しい部分はあるが、条例、規則等に違反する不当要求行為を行った者、また職務強要や、不当な許認可の強要、大声を張り上げて威嚇、恫喝を持つて暴力的要求行為を行う者と位置づけている。

文教福祉常任委員会

問 子どもの家が増えているが、定数は50人を一つの単位という解釈か。

答 40名60名というところもある。

問 湖南全体で休日急病診療とするならば、真ん中あたりにして欲しいとの思いがあるが、検討はどうされたのか。

答 小児救急の確保が難しい、医師の疲弊の回避

との申し出が医師会からもあり行う。中間点で各市が利用しやすい場所を検討していく状況になる。

問 野洲中学校の工事請負契約の変更について、なぜ変更が出てくるのか。



環境経済建設常任委員会

問 都市計画道路野洲駅北口線について、10人の地権者の連名で計画の廃止を求める署名の請願が市長宛てに提出されているが、どのような認識でいるのか。

答 一昨年の都市計画道路の見直し等これまでの経緯も踏まえた上で、守山市からの要望もあり、存続すべきであるとの結論に達した。県の道路整

備アクションプログラムに対して、大津湖南地域の幹線道路としての整備要望を上げていく。

問 都市計画道路野洲駅北口線の問題は過去から様々な経緯の中で実際に計画が進められている現状だが、地元の住民からの声が直接挙がって来ているため、行政の基本である民主的運営と住民合意の立場で話し合いを行い、強行しないよう求める。

答 市としての判断を行うが、一方的ではなく話し合いを進めながらと考える。

都市基盤整備特別委員会

問 第1次野洲市総合計画の改訂について

問 主な新規プロジェクトは入っているが、野洲病院の位置づけは。

答 地域医療のあり方について検討中であり、医療、保健、福祉の各機関における連携強化とした。

問 土地利用計画について、一極集中(例えば駅周辺を中心に)で行くのか地域別整備方針なのか

答 農商工業全てにわた

り均衡のある土地利用を行うものである。

問 人口フレームに住宅開発は考慮しているのか。

答 住宅開発による人口増も考慮している。

問 進捗管理のチェックの所では、結果を市民に公表するだけでなく、市民によるチェックが必要と思うが。

答 市民の代表を含む外部評価制度を取り入れた評価を組み込んでいきたいと考えている。

問 この総合計画が議決されると次の段階で国土利用計画等に反映されるが、具体的段取りは。

答 当然次の段階として連動させるものであるので、総合計画の改訂に合わせた形で改訂したい。また予算化の方も予定している。

問 篠原駅が橋上化されて、入町、大篠原が開発を含め様々な部分が展開されると思うが、これらのことは網羅されているのか。

答 篠原駅関連の道路網の整備を進めており、当該地は農用地のため開発的な部分は含んでいない。

Q & A 一般質問

市のゆくえは

議長・副議長・議会選出監査委員を除く、13名の議員が質問

・本紙は要旨のみで一般質問の詳細は、2月下旬に野洲図書館、市役所本館2階情報公開コーナー等に配置する会議録にてご覧いただけます。同時に市議会ホームページでも会議録を公開します。



問 指定避難所は、38か所約5,000人が収容可能となっているが、どの程度の被害想定か。

答 県がまとめた地震予測調査で示した中で最も大きい被害想定M7.8避難者数3,662人を目安にしている。

中島危機管理監
(以下も同じ)

問 避難場所の停電時の対応はできるのか。

答 停電時の電源確保は考慮していない。

問 防災行政無線の冗長化は。

答 親局および屋外拡声子局とも20時間保障のバッテリーを備えている。

問 月1回自動プログラムで音楽を流しているが、1日に1回でいいから、システムの確認とオペレータの訓練を兼ねて行政情報を流してはどうか。

答 オペレータは防災担当が、訓練は市の総合防

災害への対応は十分か

丸山敬二

一問一答

災訓練時に開催学区を対象に実施し、機器の確認は操作マニュアルにて対応する。

問 コミュニティFM局は、日常は市民への情報を、災害発生時にはタイムリーな情報が提供でき有効であるが市の考えは。

答 平成17年に約3億円かけて防災行政無線を整備し、年間の保守点検費用に約730万円かけているので、民間で開設するのなら大いに歓迎はするが財政支援はできない。

東郷政策調整部長



問 防災士資格取得の支援として費用の補助は。

答 資格取得支援は考えていない。

問 災害に強いまちづくりのために行政、市民、議会の行動を盛り込んだ条例を制定してはどうか。

答 他に定めたものがあり、条例の必要性は低いと思う。

山仲市長
(以下も同じ)

問 市総合防災訓練を広範囲にし多数の市民参加型に変えてはどうか。

答 広範囲にすると会場や人員の不足も考えられるので従来どおりが望ましい。

問 野洲川をはじめ河川の雑木伐採および浚渫が必要と考えるが市の考えは。

答 県管理河川は自治会と連携を取りながら、県に要望し実施している。野洲川については近畿整備局に要望している。

橋都市建設部長



災害時・避難場所運営・要援護者の避難支援対策の取り組みは

矢野隆行

消防庁では、内閣府と共同で、「災害時要援護者の避難対策に関する検討会」を設置し、災害時における要援護者の避難対策を検討し、各市町村職員や地域の活動主体、事業者等へのヒアリング調査を行った。

- ⑥ 要援護者に配慮した避難所運営は。
- ⑦ 避難所での要援護者の支援を円滑に行うための訓練は。
- ⑧ 避難所で要援護者の健康維持は。
- ⑨ 避難所における要援護者の支援でボランティアの協力は。

災害救助保護計画の中で取り組み

中島市民部長
富田健康福祉部長

本市においては、平成23年度8月補正予算に53万7千円が組み込まれたが、今後の進捗については。

- ① 本市の要援護者の数は。
- ② 要援護者の情報を関係者間での共有は。
- ③ 要援護者の最新の情報維持は。
- ④ 避難支援の体制づくりと支援者の協力は。
- ⑤ 要援護者の支援にあたって、市内事業者等の協力は。

【避難所について】

- ① 現在のところ策定出来ていない。
- ② 災害時に活用できる情報を関係行政機関や自治会等で共有したい。
- ③ 要援護者名簿の一括管理及び定期的な更新を行う。
- ④ 各自治会等地域において避難支援の体制づくりを行う。



その他の質問

- 地域ブランドに新登録制度の取り組みを。
- 地域活性化事例集「シニア世代との協働による地域づくり」について。



祇王地区河川浚渫並びに信号機設置を

中島一雄

安全の基盤ともいえるべき河川の市街地の排水の殆どは必然的に祇王地区の河川に流入しており抜本的な改修が進まない限り流末における浸水の危険性が低減されない。

新川改修はポンプアップ方式で合流先の家棟川童子川へ放流する計画

橋都市建設部長

河川の底打は小規模な水路を除き、地下水にも影響することから底打ちはされない。

浚渫については、河川の管理上支障となる箇所は実施している。

また、浄化作用に支障のない護床工があると伺う。特に浸水被害の頻度が高い新川、渡瀬川などでの護床工の実施について検討をお願いするとともに比較的規模の大きい東込田川、中の池川は浚渫の実施をお願いする。

次に県道野洲中主線が来年度早々に暫定供用され交通量が激増することが想定される。特に県道と交差している市道久野部小南線、並びに北地先の市道江部北線の2箇所については生活道路、通

学道路でもあることから信号機の設置が必要である。現在の計画については。

河川の底打は小規模な水路を除き、地下水にも影響することから底打ちはされない。

浚渫については、河川の管理上支障となる箇所は実施している。



新川の現状



安心安全の見地から

坂口哲哉

問 道路維持管理は市民の協力により一定の適切な管理を図っているものと考えている。そのシステムを実施段階まで煮詰めているが、その後のシステム作りは。

答 緊急雇用対策事業により臨時職員を雇用。4名体制で実施。

問 橋都市建設部長 国道8号線御上神社前信号を1億4千万円かけ整備を行ったが、相変わらず渋滞が続いている。そのお金を道路改良あるいは信号機設置等に使用した方が地域にとって最善であったと考えるが。

答 ムーブメント信号は警察庁のモデル事業で国の全額補助で県が実施。しかし交差点改良等が実施されていない状況で渋滞解消に繋がらなかった。検証の結果休止となった。
問 東林寺山出線の三上交差点から県道野洲甲西

線は自転車走行を行うに非常に苦慮しているが、安心・安全の見地からこのままでよいのか。

答 交通ネットワーク整備計画の中で優先順位を定め整備と含め安全対策を検討、東林寺山出線の三上交差点から県道野洲甲西線の区間歩道未整備については、地元自治会との協議により区画線により路面標示を12月中旬に実施予定。

農業振興計画は

橋都市建設部長

問 計画策定の中間報告と、地域の現状を把握されたか、新規就農者の農業大学校への就学支援は、受入先農業者の把握や紹介はどの程度、農地の確保の支援は、インターンシップ制度の導入はいつ頃か。国の補助制度だけではなく、小農家でも市単独の補助あるいは貸付制度を設置する考えはな

いのか。市長のTPPについての考えは、政府が参加すると野洲市農業振興計画にどのように反映されるのか。

答 野洲市は穀物栽培が主流であり、農業への与える影響は大きい。農業面をみれば参加は反対。これに対する情報が非常に少なく、国の将来を見越した対応を望む。農業構造の改善や経営の合理化の促進、食育や地産地消を通して自由化に対抗、農業を守り元気な農業を目指す。農業振興計画をパブリックコメントや農業者の意見を聞き今年度末に策定。農業大学校就学支援やインターンシップ制度の導入は新年度より行う予定であり、施設野菜は就農者と地元を取り持つ支援を行う。

設備投資では市単独の補助は考えていない。

山仲市長



地域共通診察券の導入を

内田聡史

問 政府の高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部は新成長戦略に盛り込まれた「どこでもMY病院」構想の実現に向け「医療情報化に関するタスクフォース」を設置した。

答 この施策の趣旨は全国どこでも過去の診療情報に基づいた医療を受けられるとともに、個人が健康管理に取り組める環境を実現するため、国民自らが医療・健康情報を電子的に管理・活用するために全国レベルで情報提供を創出するものである。その実現に向け活用されているツールが「地域共通診察券」である。

この診察券を利用する事により、患者個人が自分の情報を必要に応じて取り出すことができ、今よりも適切な医療を求めて行く事が可能となり、更には自らが容易に健康、病状を閲覧できることに

より健康管理に対する意識も高くなり、蓄積された個人の健康情報に基づいた予防医療相談もきめ細やかに受けられるものである。

今後も電子化が進むにつれ、使用できる環境が整備されてくる地域共通診察券を導入するべきと考えられるが見解は。

他府県での参加拡大を見守る

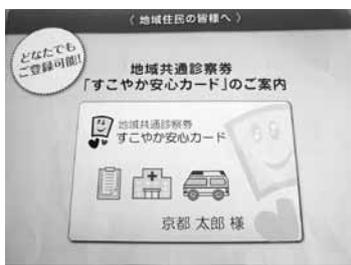
富田健康福祉部長

答 この共通診察券は、導入に賛同し会員登録している医療機関や調剤薬局等で利用できる仕組みであり、当面は導入先進地のモデル地域、参加する医療機関や調剤薬局の参加拡大を見守ってきたい。

なお、本市ではつなぎ目のない医療サービスの提供を目指して在宅療養手帳の発行を行っており、この運用拡大、定着を



図ることを優先し、安心した医療が受けられるようにしていきたいと考える。



地域共通診察券



新公会計制度に係る関連事項と 中期財政見通しを問う

市木 一郎

一問一答

問 10月に野洲市地域医療における中核的医療機関のあり方検討委員会から「市内に一定の役割を担う病院は必要」という提言を受けられたが、場所の問題、債務の整理、黒字経営の仕組みづくり等々難題ばかりである。具体的な事業化はいつごろか。

答 市民が新病院を整備するかどうかを判断する材料整理とあわせ、財政状況も考慮しながら、適切な時期を示したい。

問 前回質問の答弁で、イオンの土地の他に商業地として九百平米余りがあるとのことだったが、この土地の現状は。

答 3区画が未分譲となっている。山本環境経済部長

問 地域交流センター等整備用地として取得した野洲川副堤敷地の現状は。取得時点で、地元が

住民の憩いの広場として利用されており、今日においても同様の利用状況である。

問 富田健康福祉部長 当該地に対する償還期間は平成16年から25年度の10年間となっているが、7年間何をしてこられたのか。

答 地元の意向を聞きながら、利用に配慮した同用地の周辺環境の整備に向けた矢田川の改修工事や農業用水路幹線の付け替えを行ってきた。今後は、償還が完了した後、地元の意向も踏まえて売却していきたいと考えている。

問 富田健康福祉部長 10月に発表された野洲市中期財政見通し(普通会計)だが、山仲市長になり平成22年度から「野洲市財政健全化集中改革プラン」が策定され、年間6億3千400万円の節減等が行われたが、

大変厳しい財政運営には変わりなく、平成24年度から28年度の5年間で、歳入歳出差引が約30億円のマイナスとなっている。財政調整基金等を引当ても約15億円の不足が生じるが、どう対応するのか。

答 財源不足額については、歳入の確保や、事業の合理化や削減、場合によっては市民サービスの見直しによって対応する。

問 東郷政策調整部長 地域振興基金が平成24年度から1億5千万円取崩しの予定になっている。六月に受けた説明では、平成27年度から、アサヒビル(株)からの土地買取時の事業債の返済原資に当てることになっていたが。

答 元金償還を平準化させるため、10年間で試算した。

東郷政策調整部長



市内の自転車の課題と安全な 自転車走行は

井狩 辰也

一問一答

問 市内の湖岸道路をサイクリングロードとして使用されている現状認識は。

答 全国的にも自転車の利用やサイクリングをされる人が多くなっている。県道近江八幡大津線(湖岸道路)でも利用者は増加している。湖岸側の自転車歩行車道(以下自歩道)は植樹帯を含め、幅25mの歩道である。これは本来湖岸堤防であり、管理者である水資源機構が、一般車両が歩道へ乗り入れができないよう漁港や公園の入口に車止めを設置している。

問 湖岸道路で自転車に車道よりも歩道を使用してもらおう取り組みは。

答 自歩道以外は、基本的に自転車も車両であり、車道を使用することになっている。当路線は自歩道表示があり、自転車

は歩道を通行することが可能である。しかし、平成23年10月25日付けの警察庁交通局長から通知があり、自転車は「車両」であるということを徹底させるという考え方が示された。その後、滋賀県公安委員会と守山警察署と市道管理者との調整会議にて、自歩道の取り扱いはどうするのかと申し上げたが、歩道幅員3m未満については、自転車走行禁止などがうたわれている関係で、滋賀県公安委員会より法令整備が整うまでは判断できないとのことであった。

問 野洲市内における自転車に関する事故の状況やその件数は。

答 市内における自転車事故件数は、平成22年が39件、うち死亡事故が1件発生(自損事故)。この死亡事故は県道近江八幡大津線(湖岸道路)である。平成23年は10月末

現在で43件、死亡事故は0件である。主に交差点やコンビニエンスストアでの出会い頭が多く、平成23年の9月末現在では4件が発生。

問 自転車道路の整備を進めていく考えは。

答 自転車道整備について、野洲市交通パリアフリー特定事業計画を基本に、区画線により自転車通行レーンの整備を計画していたが、歩道幅員3m未満については自転車走行禁止などがうたわれており、滋賀県公安委員会より法令整備が整うまではライン処理の施工については停止を指示されている。今までの経過も含め滋賀県公安委員会も強く要望していく。

その他の質問

○市民カードに付属する各種サービスの住基カードへの移行について。



野洲市の教育の取り組みについて

高橋 繁夫

問 平成23年度当初から「元氣な学校づくりマスタープラン」が作成されたがオリジナリティにあふれたプランが策定されているのか、また、どのような成果が現れているのか。

答 オリジナリティあふれるプランであると認識

南出教育長

問 今年4月に実施した本市独自の学力・学習状況調査により、各学校の学力向上策が見直され、その結果、すべての学校において、学習指導の改善や家庭学習の充実が図られた。

答 また、道徳の授業を公開し、心の教育の充実が図られ、すべての小学校でオリジナルの業間運動に取り組み、体力づくりにも成果をあげている。

地域に根ざした学校づくりに向けては、読本「郷土の偉人」の計画的な活

用や、地域の自然、文化に学ぶ教育活動の一層推進など、地域の教育力を生かした特色ある取り組みを展開。

教科書採択について

問 教科書基本法等の改善に当たつての基本的な方向性を参考にし、各採択者の権限と責任の下、十分な調査研究が行われ適切な採択がなされたか。

答 公正かつ適切な教科書採択ができたものと考え

南出教育長



採択された新教科書

育委員会の権限と責任の下に教科書採択をした。

その他の質問

問 県道野洲中主線供用開始に伴う安全対策について。

答 公安委員会と協議しながら事業を進める。



福祉避難所の指定

三和 郁子

一問一答

問 1995年の阪神大震災を教訓に、福祉避難所の指定促進を国は地方自治体に通知した。

答 滋賀県では13市6町中5市3町での指定にとどまり、当市は未指定。

問 災害時に福祉避難所に避難しなければ生活ができない市民の数値は。

答 今年度中に名簿登録等のシステムを導入し、実数を把握する。

富田健康福祉部長

(以下も同じ)

問 福祉避難所は原則として室内に段差がなく、障がい者用トイレの設置などの整備が必要。避難所として指定できる候補施設は。

答 老人福祉施設(特養老人ホームや介護事業所等)、障がい者支援施設等を想定。

問 福祉避難所の指定がされていないが。

答 現在、要援護者避難支援計画を策定中であり、

この計画の策定が終わり次第、名簿登録等システムの運用に合わせ、福祉避難所の指定に着手していきたい。

問 福祉避難所設置のタイムスケジュールは。

答 24年度に指定基準や計画策定に着手。その後指定施設等との協議を経て協定締結。

問 当市は安定ヨウ素剤服用地域

美浜・大飯原発事故で

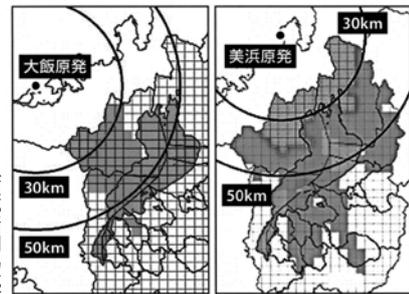
問 滋賀県は関西電力の美浜・大飯原発所での事故を想定した放射性物質の拡散予測を公表した。当市は安定ヨウ素剤の服用基準となる50〜100ミリシーベルトが予測される地域となる。

答 事故発生に対する対処マニュアル整備は。

答 原子力災害対策編の策定とともに対処マニュアル整備を行う予定。

中島市民部長

(以下も同じ)



放射性物質拡散予測図

その他の質問

学校教育環境について
○都道府県の650校が取り組んでいる「弁当の日」の実施を。
○児童・生徒の「広報やす」への編集参画を。



福島原発事故の実態を踏まえた 防災計画を求めらるべき

おお 太田 けんいち
一問一答

問 現在進められている滋賀県地域防災計画（原子力災害対策編）の見直しに向けての検討委員会は、原発推進派のメンバーが大半と言う事に問題があり、協議の内容も福島原発事故の実態を踏まえたものとはなっていない。11月25日に滋賀県が公表した放射性物質の拡散予測では、野洲市も安定ヨウ素剤の服用基準となる地域な為、市民の安全と安心を考慮した県の防災計画を求めらるべき。

答 科学的な妥当性も含めて十分な検証が必要と考えるが、県の見直しに対して意見することは考えていない。

問 4月から10月までのコミバスの利用者数の昨年度との比較では、総数

高齢者の利便を考慮した コミバスの運行を

中島市民部長
(以下も同じ)

で三上コースによる70歳以上高齢者の約2000名もの激減とあるが原因は、

理由はわからない。
問 有料化によるものが明らかで、見直しが必要と考えるが。

答 有料化によるものは考えておらず、見直しは考えていない。

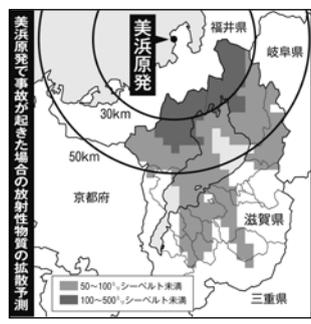
問 交通渋滞によるダイヤの遅れが原因で、バスが来ないと勘違いされ帰られる方がおられる。バス停のダイヤ表に記載されている市の連絡先を大きく表示するなど、利用者に対する周知や連絡手段が必要と考えるが。

答 改善を図って行く。

三上学区の交差点の 渋滞緩和対策を

御上神社前の信号に

かかる県道の渋滞は以前から地域住民にとっての問題となっていたが、ムーブメント信号の導入



滋賀民報社より

により更に渋滞は悪化し、コミバスの大幅なダイヤの遅れなども起きています。運用の中止により多少の渋滞緩和は想定出来るが、渋滞の原因の一つの要因となる右左折レーンの改良が行われない限り問題解決に繋がらない。三上の信号の交差点においても、同様の渋滞の悪化が起きています。道路の拡幅や延長、右折信号の設置が必要と考えるが。

答 道路拡幅の用地の確保は困難である。三上の交差点に関しては地元との協議により、区画線の設置による路側帯の明示を12月中旬に施工する。

橋都市建設部長



教員のメンタルヘルス対策について

かじ やま いくよ
梶山 幾世

問 近年、うつ病などの精神疾患により、全国で5458名の教員が休職中とのことである。

要因として、校務の多忙化によるストレス、保護者等の要望に伴う対応の困難さ、職場の人間関係等が指摘されているが、教員のメンタルヘルスの問題は、児童、生徒の学習や人格形成に多大な影

響を及ぼし、保護者や学校教育そのものへの信頼を揺るがす深刻な問題である。

本市も数名の休職者があり、保護者の不安の声も聞く。

①メンタルヘルスチェックシートの活用、土日相談等更なる取り組みを。
②円滑な職場復帰が出来る体制づくりを。

役立つと注目されている。Hは避難所、Uは運営、Gはグループ。
①本市でも取り組みを。
②女性の視点を生かした防災対策を。

自主防災組織の研修項目に入れていく
中島市民部長

チェックシートを充実させ早期発見 治療に努める。

南出教育長

問 ①教職員の心身の健康増進は、元気な学校づくりマスタープランに基づき取り組んでいる。

昨年度から学校産業医による学校巡回訪問を実施、利用者数30名、利用率11.5%で、早期発見治療へと成果もでていますが、今後、チェックシートを充実したものに改訂し問題解決に向けて、互いに支え合いながら育成

をめざしたい。
②復職後4週間を越えない範囲で勤務時間の軽減が認められるという県の制度を周知し、充実した相談体制に努めたい。

防災対策に 体験型訓練を

東日本大震災以降、

防災計画が見直され、避難所運営の体験型訓練HUGが、いざという時に

その他の質問

問 道路に愛称をつけ親しみのあるまちへ。
答 必要性について、民意を反映しながら検討したい。



問 介護保険が「介護の社会化」と言う事で導入され11年。当初の保険料から17倍になり、負担の限界にきている。来年度の見直しには、国庫負担を引き上げる必要があるが。

答 国の方で将来の見通しを踏まえ適切な負担割合を考えてもらいたい。

富田健康福祉部長
(以下も同じ)

問 保険料を引き下げるために、「財政安定化基金」を全額取り崩し市町に還元すべきである。また市の「介護給付費準備基金」も全額取り崩しを行えば、県下で2番目に高い保険料を7%ぐらい下げることができる。第5期の保険料の想定は。

答 「安定化基金」の全額返還は性質上なじまない。「準備基金」は大半を取り崩し、保険料に充て負担軽減をする。国では制度見直し協議中の

介護保険料の引き下げを

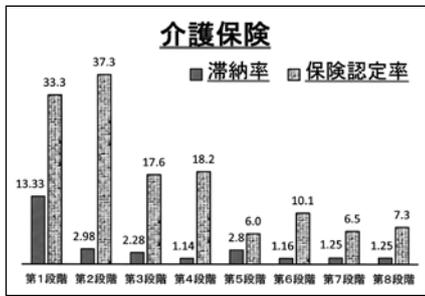
野並享子

一問一答

ため、保険料の金額は未定である。

問 第1・第2段階の保険料が同じため、滞納率が高い。所得に応じた保険料にするため、10段階のまちもある。軽減条例をつくるべきであるが。

答 第1〜第3段階までの非課税世帯の保険料の上昇を抑えるように配慮する。第4段階のところの細分化も検討する。



22年度、介護保険認定率と滞納率%

養護学校の充実を求める

問 野洲養護学校は現在294名在籍し、マンモス化

している。養護学校の適正規模は150人〜200人とされるが。

答 現状のような大規模化は望ましくないと考える。

山仲市長
(以下も同じ)

問 学校の校区は、子どもや保護者にとつて福祉圏域内が最適であるが。

答 校区と福祉圏域が同じ事は、子どもや保護者に好ましい事である。

問 県内4圏域に新たに養護学校の建設をすべきだが。

答 湖南地域は児童・生徒の増加が見込まれるため、本市の子どもたちが通う特別支援学校の充実について、県に要望する。

問 送迎バスは増車されたが、市内から40分かつている。更に増車すべきである。

答 長時間のバス乗車は避けるべき。県に意見を述べる。



湖岸開発株式会社について

鈴木市朗

一問一答

問 市の第三セクター、湖岸開発株式会社(以下当会社と称す。)は平成3年11月設立。野洲市が54%(800株)の株式を保有。当会社の役員の在職期間が長すぎるのでは。

答 常勤取締役の在職年数は11年が経過し、平成26年6月の株主総会までの任期。

東郷政策調整部長
(以下も同じ)

問 当会社の専務は平成12年度からM・I氏が常勤役員に就任しており、前役員より約61万円増額(プラス社会保険費が必要)の報酬を受け取っている。役員報酬の算定は、定款の規定に基づき株主総会により決定。

答 常勤役員以外は懇親会により充当。

問 非常勤取締役全員の年間報酬は。

答 全員で1万5千円。平成15、16、19、22年は配当がゼロ円となった。

ているが、また内部留保資金の額は。

答 設立後、平成15年までは利益を計上していたが、以後収益の減少や施設修繕へ支出、及び約2500万円を内部留保資金に回している。

問 平成15年2月に有限会社ウインドベルズを設立し、合併前の平成16年7月まで、当会社のオー

祇王井川上の構造物について

問 来年のNHK大河ドラマ清盛。清盛が造った祇王井川の上には構造物が建ち、今では往時の姿は見えない。市当局の行政指導は。

答 平成21年5月13日に、条例違反者は、21年度末を期限に構造物を撤去するとの確約書を当局と結んでいたが撤去に至っていない。

大河ドラマの関係もあり、多くの観光客が見込まれる。これを契機に条

トキャンプ場の経営を行っている。

ウインドベルズは、代表取締役が当会社の常勤役員M・I氏が、取締役にはその家族の就任となっているが、なぜ新しい風を入れなかったのか。

答 ウインドベルズは経過措置として法人化された。市として人事に関するべきではないと考える。

例違反物件の撤去に向け行政指導を実施する。

橋都市建設部長



祇王井川を跨ぐ条例制定以前の古い建物

平成23年12月定例会 審議結果一覧

分類	議案番号	件名	審議結果
補正予算	議第85号	平成23年度野洲市一般会計補正予算(第4号)	可決
	議第86号	平成23年度野洲市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
	議第87号	平成23年度野洲市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
	議第88号	平成23年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
	議第89号	平成23年度野洲市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
	議第90号	平成23年度野洲市工業団地等整備事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	議第91号	平成23年度野洲市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
	議第110号	平成23年度野洲市一般会計補正予算(第5号)	可決
条例	議第92号	野洲市暴力団排除条例	可決
	議第93号	野洲市の非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び野洲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例	可決
	議第95号	野洲市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可決
	議第96号	野洲市野洲川一地区基幹水利施設管理条例等の一部を改正する条例	可決
	議第97号	野洲市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決
	議第98号	野洲市こどもの家条例の一部を改正する条例	可決
	議第99号	野洲市コミュニティバスの運行に関する条例の一部を改正する条例	可決
その他	報告第10号	委任専決処分等の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	報告
	議第100号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて(コミュニティセンターぎおう)	可決
	議第101号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて(コミュニティセンターしのはら)	可決
	議第102号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて(コミュニティセンターみかみ)	可決
	議第103号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて(コミュニティセンターきたの)	可決
	議第104号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて(コミュニティセンターやす)	可決
	議第105号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて(コミュニティセンターなかさと)	可決
	議第106号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて(コミュニティセンターひょうず)	可決
	議第107号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて(こどもの家)	可決
	議第108号	休日急病診療に関する事務の委託につき議決を求めることについて	可決
	議第109号	第1次野洲市総合計画の改訂について	可決
	議第111号	工事請負契約の変更について(野洲中学校耐震補強・大規模改修工事(建築主体工事))	可決
	議第112号	財産の取得について(市民活動拠点施設用地)	可決
	議第113号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	可決
請願	請願第4号	食料・農業・農村政策にかかる請願書	採択
	請願第5号	米軍関係者による事故・事件における第一次裁判権放棄の「密約」の破棄と「日米地位協定」の見直しを日本政府に求める意見書の採択について	採択
意見書	意見書第11号	大津地方法務局守山出張所の廃止に反対する意見書(案)	可決
	意見書第12号	定期接種に関し、早期に国の制度確立を求める意見書(案)	可決
	意見書第13号	保育所運営費国庫負担金を廃止しないことを求める意見書(案)	可決
	意見書第14号	国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書(案)	可決
	意見書第15号	食料・農業・農村政策にかかる意見書(案)	可決
	意見書第16号	日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書(案)	可決

賛否が分かれた案件の審議結果一覧

○…賛成 ●…反対

分類	議案番号	件名	審議結果	野洲ネット			野洲新風クラブ			政友会			新政クラブ			日本共産党 野洲市議会議員団		公明党				
				鈴木市朗	三和郁子	丸山敬二	西本俊吉	立入三千男	坂口哲哉	市木一郎	井狩辰也	田中孝嗣	中島一雄	奥村治男	高橋繁夫	河野司	田中良隆		内田聡史	小菅六雄	野並享子	太田健一
条例	議第94号	野洲市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議長(田中良隆議員)は採決に加わらない。

議会の動き

〔11月〕

2日 議会運営委員会

全員協議会

4日 臨時会

9日 都市基盤整備特別委員会

12日 議会懇談会・報告会

15日 議会懇談会・報告会

18日 議会懇談会・報告会

21日 議会運営委員会

30日 本会議（開会・提案理由説明）

5日 議会運営委員会

7日 本会議（議案質疑、一般質問）

8日 本会議（一般質問）

12日 議会広報特別委員会

13日 総務常任委員会

14日 予算常任委員会

14日 予算常任委員会

（環境経済建設分科会）

（文教福祉分科会）

（文教福祉分科会）

（環境経済建設分科会）

（環境経済建設分科会）

（環境経済建設分科会）

（環境経済建設分科会）

（環境経済建設分科会）

（環境経済建設分科会）

（環境経済建設分科会）

（環境経済建設分科会）

〔1月〕

16日 環境経済建設常任委員会

都市基盤整備特別委員会

20日 議会改革特別委員会

議会運営委員会

11日 議会広報特別委員会

16日 臨時全員協議会

18日 議会改革特別委員会

23日 議会広報特別委員会

23日 全員協議会

（環境経済建設分科会）

傍聴のご案内

傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所本館3階議会事務局で、住所・氏名等を記入し、傍聴席に入場してください。

なお、12月定例会では、のべ31名の方に本会議を傍聴いただきました。

行政視察の受入状況

11月から1月にかけて、3自治体（東京都台東区、茨城県北茨城市、群馬県前橋市）、計25名の議員が、行政視察のため本市を訪問されました。

〈内訳〉

- ・多重債務からの生活再建
- ・ものづくり経営交流センター
- ・すまいる市

意見募集

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。

ご意見等は、FAXまたはメールでお寄せください。

- TEL 077-587-6034
 - FAX 077-586-4300
 - メール gikai@city.yasu.lg.jp
- 野洲市議会事務局

今後の議会予定

月日	曜日	種別	開議時刻	摘要
2月21日	火	委員会	9:00	議会運営委員会
		協議会	13:00	全員協議会
29日	水	本会議	9:00	開会、上程議案の提案説明
3月7日	水	本会議	9:00	議案質疑、一部採択、代表質問
		委員会	本会議終了後	予算常任委員会
8日	木	本会議	9:00	代表質問、一般質問
9日	金	本会議	9:00	一般質問
12日	月	本会議	9:00	一般質問
13日	火	委員会	9:00	委員会審査
14日	水	委員会	9:00	委員会審査
15日	木	委員会	9:00	委員会審査
16日	金	委員会	9:00	委員会審査
19日	月	委員会	9:00	委員会審査
21日	水	委員会	9:00	委員会審査
22日	木	委員会	9:00	予備日
23日	金	委員会	9:00	予算常任委員会
26日	月	委員会	9:00	議会運営委員会
		協議会	10:00	全員協議会
		本会議	13:00	委員長報告、質疑、討論、採決

※上記日程は都合により変更される場合があります。又、本会議開会中上記日程以外は議案調査のため休会となっています。

編集後記

昨年は3月議会の最中に宮城県沖を震源とする大地震、そして世界最大級と言われた原子力発電所の事故が発生しました。1万5千人を超える死者と今なお3千人を超える行方不明の方がおられます。

被災された方々には大変な不自由を強いられ、ご苦労をされたことと思います。

この震災時にも多くのボランティアの活躍により、また新たな人間関係も発生し、「絆」と言う言葉で昨年を締めくくりました。

今年の世界にとっても災害のない、平和な年であってほしいと願います。今回から左記新メンバーにより「議会だより」を発行させていただきますので宜しくお願いたします。

- 委員長 丸山 敬二
- 副委員長 内田 聡史
- 委員 矢野 隆行
- 委員 太田 健一
- 委員 高橋 繁夫
- 委員 井狩 辰也